



市推奨品

ここで、出会う。

湖山の宝

Treasure Discovery Project

を募集!!



かすみがうら市ブランド化推進会議は、市内産農林水産物やその加工品の中から、市推奨品「湖山の宝」としてふさわしいものを審査の上、認定します。認定されると、推奨品ロゴマークの使用をはじめ、物産展への優先出展や市ホームページ等での情報発信など販売促進につながる支援を受けることができます。(3年有効・更新有り)



お米やお惣菜、スイーツとかたくさんの商品があって、市内の生産者さんが心を込めて作っている宝なんだ!

推奨品として認定するもの

推奨品の一例

市内に住所または事業所がある生産者と団体による市内の農林水産物またはその加工品で、市の推奨品として、その認知・信頼性を高め、需要拡大の促進や市の産業振興に資すると認められるもの。
応募条件は以下のとおり。

農林水産物

- ①～⑤のいずれかに該当する農林水産物で、「霞ヶ浦」の環境にやさしい農林水産業に取り組んでいることが認められるもの。
- ①いばらきみどり認定を受けているもの
- ②有機農産物であるもの
- ③茨城県特別栽培農産物の認証を取得しているもの
- ④基礎GAPなどに取り組むとともに、環境負荷の少ない農業に取り組んでいると認められるもの
- ⑤国または県において催された展示会・品評会等で入賞したもの

加工品

- ①及び②のいずれにも該当するもので、市特産品となりうるもの。
- ① 品質が優秀であると認められるもの
- ② 郷土色が豊かなもの

申込期限 令和8年12月4日金

申込・問合わせ先

ブランド化推進会議事務局(農林水産課内)
☎029-897-1111内線2504

※認定審査については、令和9年1月以降に実施予定です。
※申込用紙は、市農林水産課窓口での設置のほか、市ホームページにおいてダウンロードできます。

市ホームページは
こちらから



子ども大学が開校しました

6月13日(土)、やまゆり館を会場に、令和8年度「かすみがうら子ども大学」が開校しました。

第1回授業では、茨城大学人間系教授の清水美恵氏を講師に迎え、「算数のひみつ」について学びました。児童たちは講師の話に熱心に耳を傾け、積極的に質問するなど、楽しみながら学習を深めました。「新聞紙を50回折るとどうなる?」「ドットはいくつある?」など、身近で親しみやすい算数のテーマについて、受講生同士で話し合いながら楽しく学びました。



第1回 算数のひみつ



『かすみがうら子ども大学』とは?



かすみがうら子ども大学は、将来を担う子どもの知的好奇心や学問への興味・関心を高め、職業や学びたいことなど、夢や目標を持つきっかけを提供することを目的とした事業で、毎年4月中旬から5月末頃にかけて募集を行い、年間6回程度の授業を実施しています。

令和8年度は、第1回の「算数のひみつ(子どもに知ってほしい算数の世界)」のほか、②「世界で活躍する建設機械のひみつ」[移動学習/工場見学]、③「空から日本を守る航空自衛隊の仕事を知ろう」[移動学習/航空自衛隊基地見学]、④「日本のお金・世界のお金」、⑤「見えない、見えづらいってどんな世界?」(視覚障がい理解)、⑥「左官職人に弟子入り!漆喰団子づくり教室」と、市内公共施設での講義や体験学習をはじめ、大型バスでの移動学習などを計画しています。

生涯学習課